

1. 件 名：新規制基準適合性審査への対応状況について
2. 日 時：令和4年5月26日 15時30分～18時20分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、角谷管理官補佐、宮本管理官補佐、
藤原主任安全審査官、伊藤安全審査官、小野安全審査官、
上田審査チーム員

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他8名（※）

5. 要 旨

（1）北海道電力株式会社から、泊発電所3号炉の設置変更許可申請のうち、「耐震設計方針」及び「耐津波設計方針」の新規制基準適合性審査に係る説明スケジュールについて、説明があった。また、令和3年10月1日に提出したとりまとめ資料等について、先行プラントの審査知見及び抽出プロセスの反映を改善して提出することとしていたが、提出時期については本年6月（一部については本年9月）になるとの説明があった。

（2）これに対し、原子力規制庁は、以下の点について適切に対応していくよう北海道電力に求めた。

○ 説明スケジュールについて、クリティカルパスである耐津波設計方針に関する審査に要する現実的な工程を見積もった上で、他条文の説明スケジュールも含めた全体工程を説明すること。また、全体工程の検討にあたっては、審査項目の重要度及び優先順位を整理して説明すること。

○ クリティカルパスである入力津波の設定について、評価の方針に係る説明を速やかに実施できる工程を検討すること。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和3年10月6日第36回原子力規制委員会配付資料1）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

（1）耐震設計及び耐津波設計の説明方針について

以上